

竪穴住居ペーパークラフト 解説と作り方

■解説

竪穴住居とは

縄文時代から奈良時代ごろの家。地面を深く掘り下げて柱を立て、屋根を掛けた構造です。この組み立て式竪穴住居は、弥生時代がはじまった頃の「松菊里型」と呼ばれる住居をモデルにしました。

松菊里型住居とは

住居の形が円形で、中央に穴があり、その両脇に2本の柱があるといった特徴があります。韓国の代表的な集落遺跡である松菊里遺跡で多く見つかったことから名付けられたもので、稲作をはじめとした多くの文化とともに日本に伝えられたとされます。

*2本の柱と中央の穴以外の構造は正確には分かっていませんので、想像で作っています。



↑組み立て式竪穴住居（九州国立博物館所蔵）

■作り方

準備するもの

1. 竪穴住居ペーパークラフトの台紙（ダウンロードして印刷する）
2. はさみ
3. カッターナイフ
4. 鉛筆
5. のり
6. セロテープ
7. 発泡スチロールの食品トレー（18 cm×18 cm以上の大きさのもの）



作り方（動画を見ながら作ってね!）

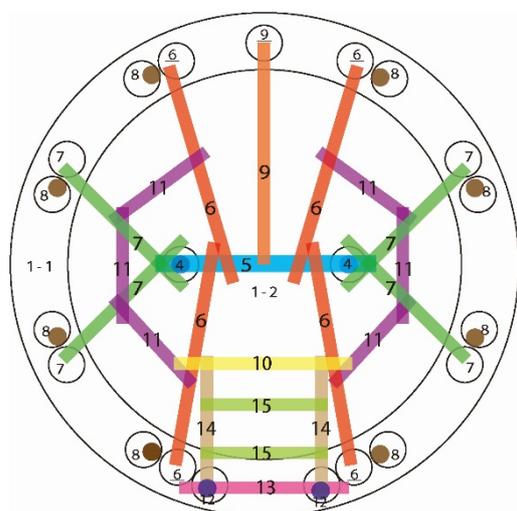
1. 台紙の1～19までのパーツを全て切り取り線で切る。
2. 2-2のパーツの「2-2」という文字の横の「のりしろ」にのりを塗り、2-1を上貼る。
3. 食品トレーを裏返しに置く。真ん中に、1-1を置き（9が12時の方向に来るように）のりで貼り、内側をカッターナイフで切り取る。
4. 切り取った丸いトレーに1-2をのりで貼る。
5. 2の短い切り取り線の通りに切り目を入れ、切ったところを「たにおり」に折り、

切り取った方の食品トレー（丸い形の方）にテープで付ける。（色が付いた方が内側になるように）

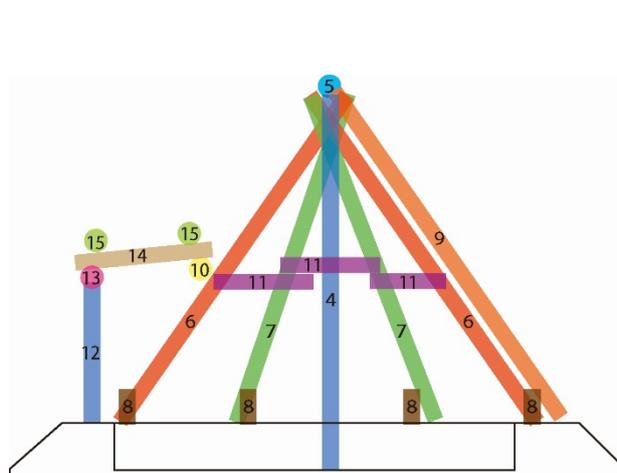
6. 丸いトレーを食品トレーの真ん中の穴に入れ（二つの「4」が3時と9時の方向になるように）、はみ出した部分に細かい切り目を入れる。細かい切り目をトレー側に倒し、テープで貼る。
 7. 3を1-2と書いてある上のにりで貼る。
 8. 4～15、20を丸めて、のにりで貼る。（鉛筆に巻きながらやるとやりやすいよ!）
 9. 4、6～9、12の端っこに3か所の切り込みを入れる（切り取り線の通りに）。
- ★4～15の設置場所は、下の図を参照にしてね!
10. 4を1-2の白地4のところに貼る。（のにりでもテープでもOK!）
 11. 5を4の上に乗せ、テープで貼る。
 12. 6の先端を5にくぐらせ、1-1の白地6のところに貼る。
 13. 7の先端を5にくぐらせ、1-1の白地7のところに貼る。
 14. 8を1-1の白字8のところに貼り、隣の柱と一緒にテープで止める。
 15. 9を1-1の白字9のところに貼る。
 16. 10を6の真ん中あたりの点線のところに貼る。
 17. 11を7の真ん中あたりに貼る。
 18. 12を1-1の白字のところに貼る。
 19. 13を2つの12の上に貼る。
 20. 14を10と13の上に乗るように、貼る。
 21. 15を14の上に横に貼る。
 22. 16を15の上に貼る。
 23. 17の短辺を14に貼る。（柄が外向きになるように）
 24. 18の端を入口右の11にテープで貼り、反対の端も9と11に止める。
 25. 19も同じように入口左の11にテープで貼り、反対側は18に貼りつける。
 26. 21を点線で山折にし、裏側から20をテープで止め、てっぺんに乗せたら完成!

★4～15のパーツの位置

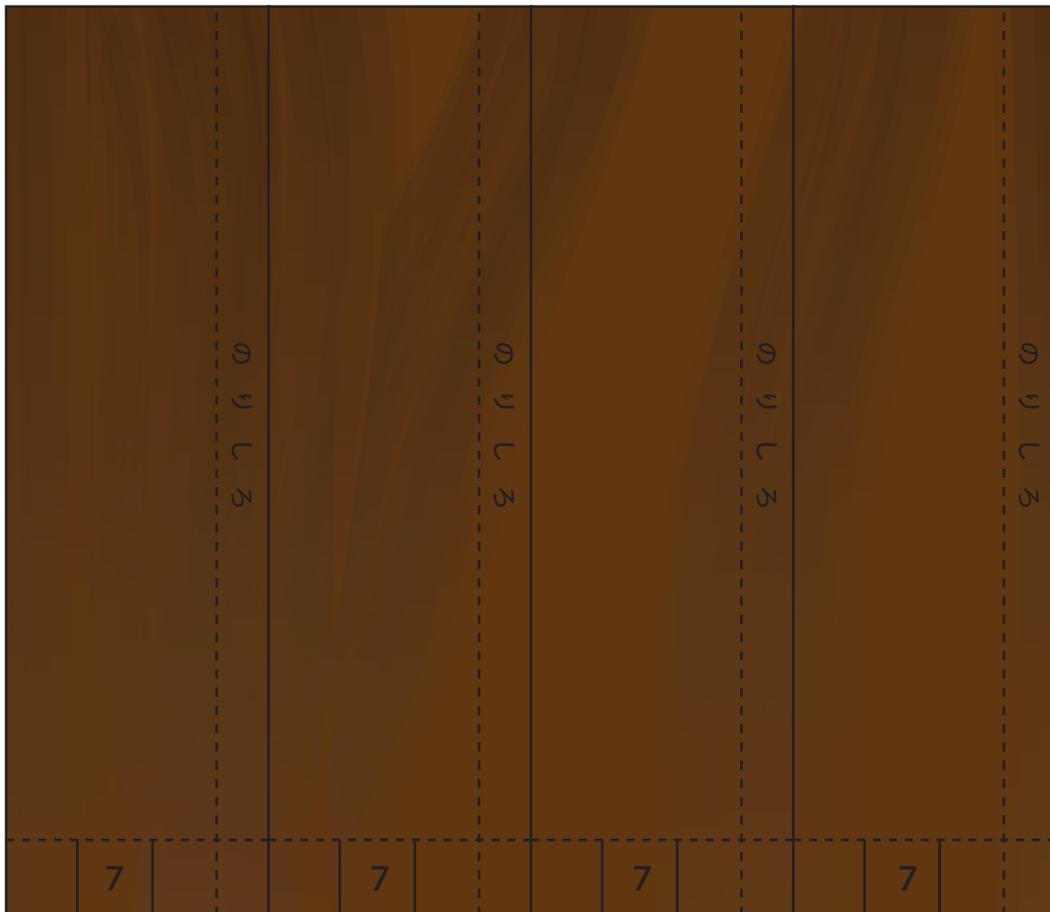
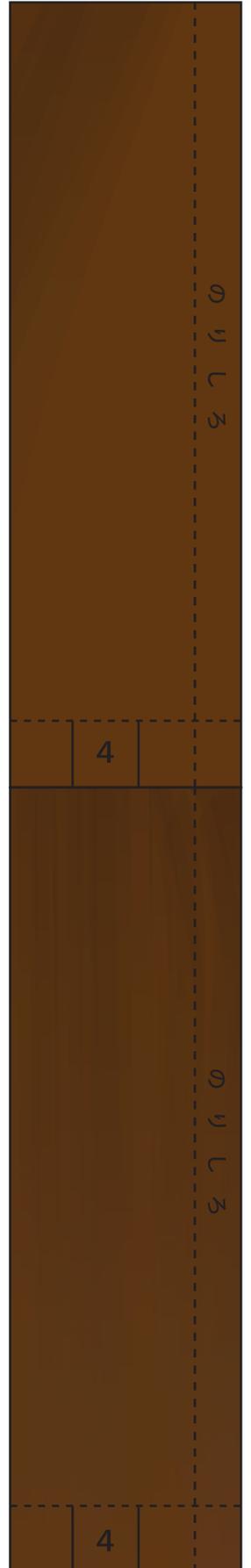
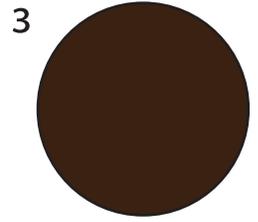
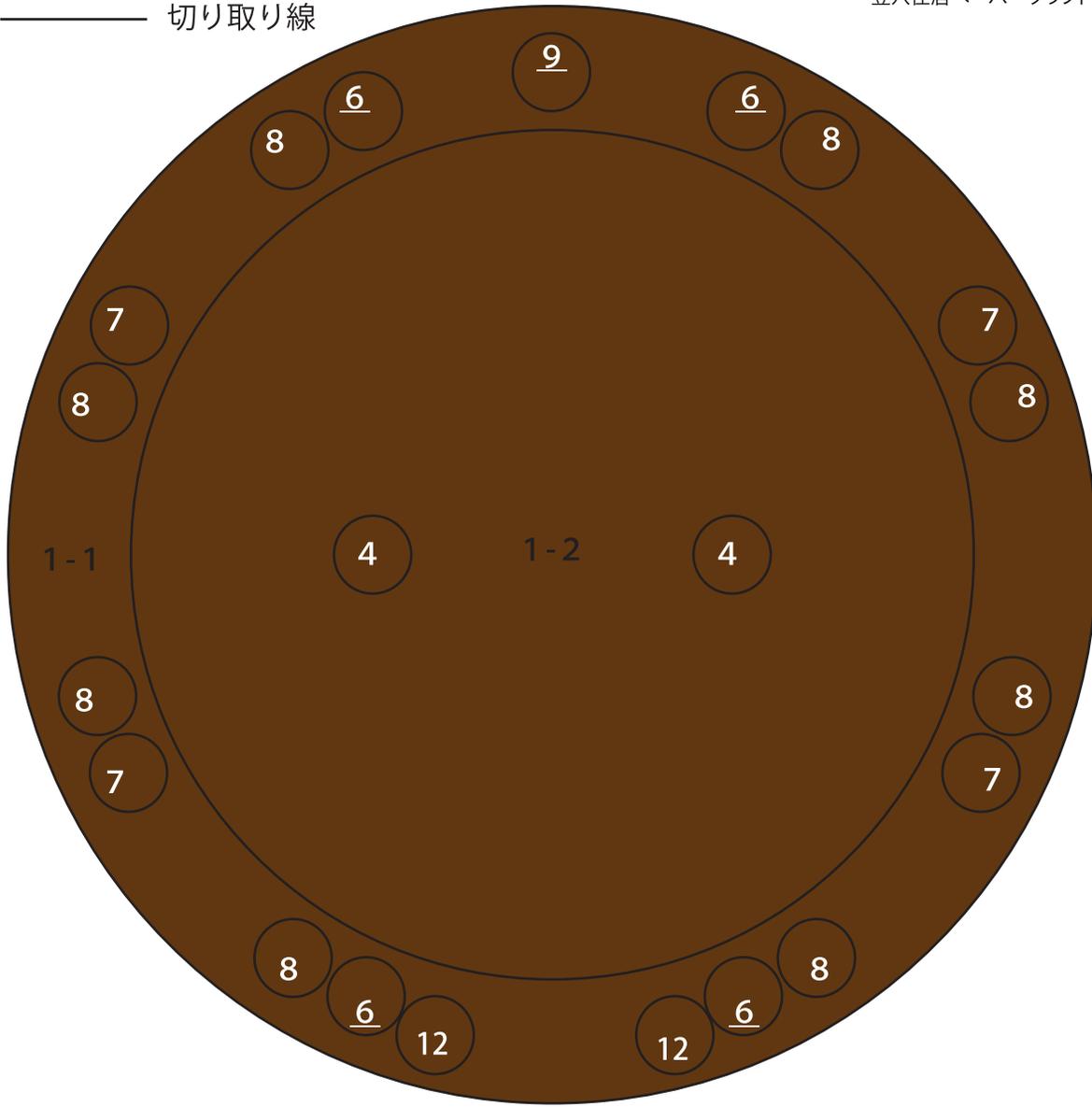
上から見た図

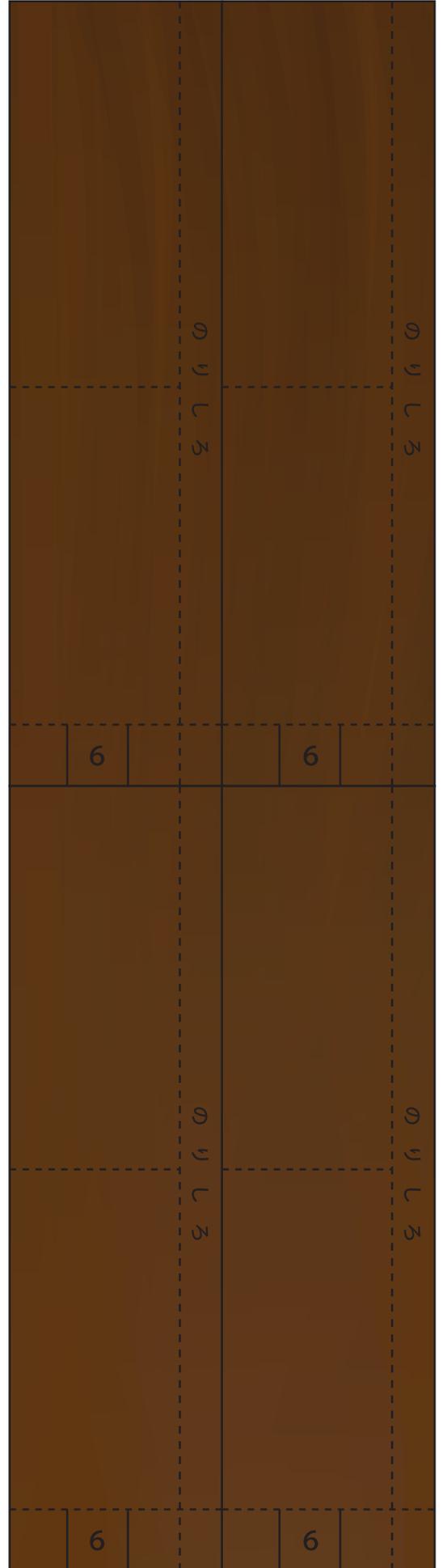
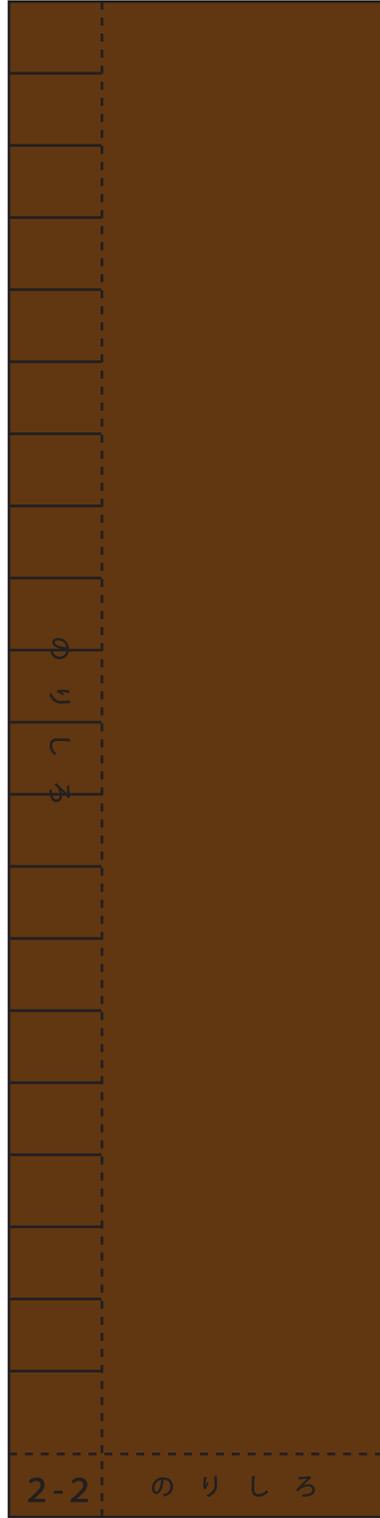
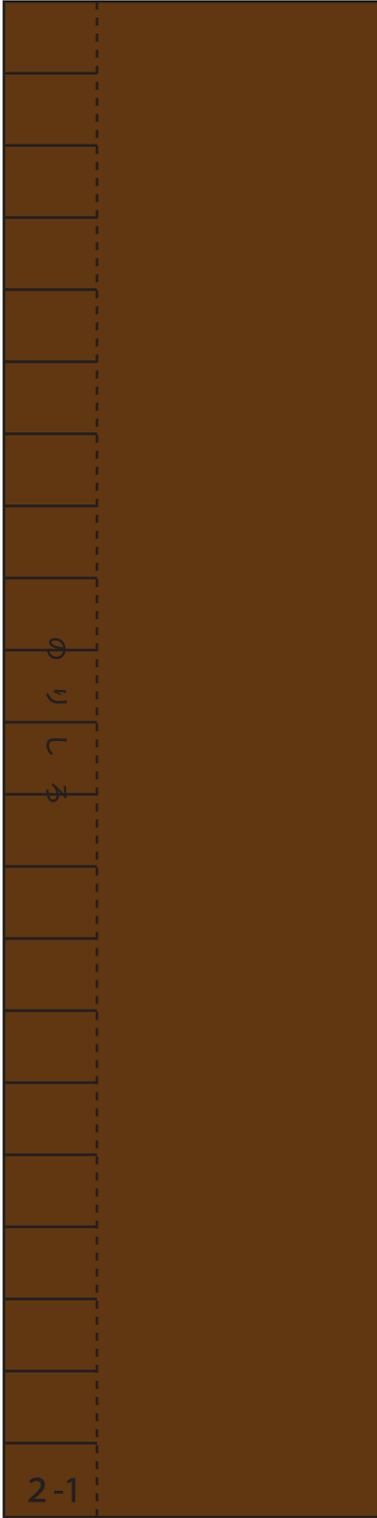


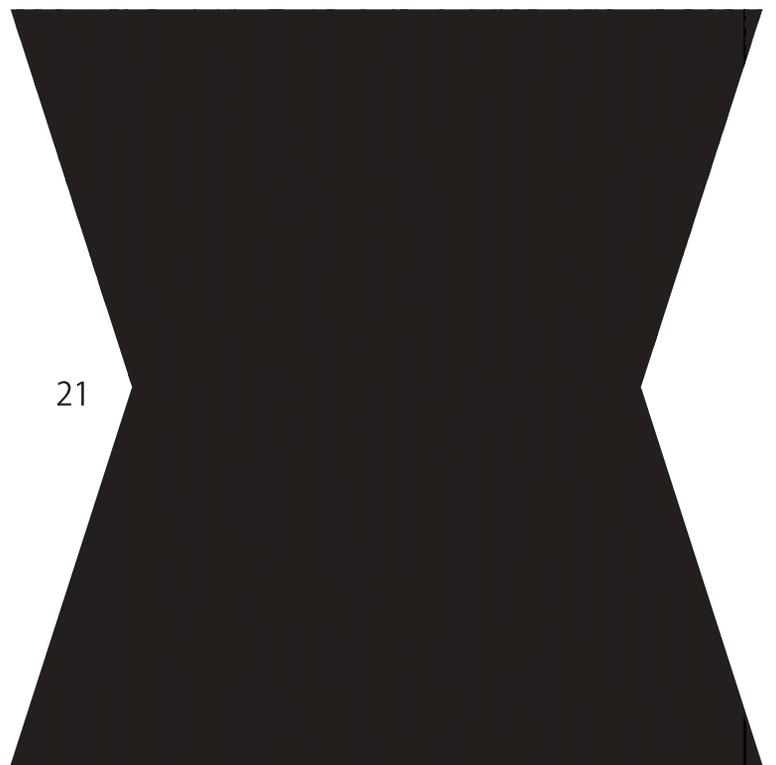
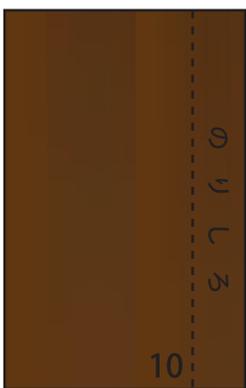
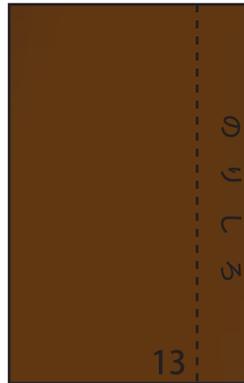
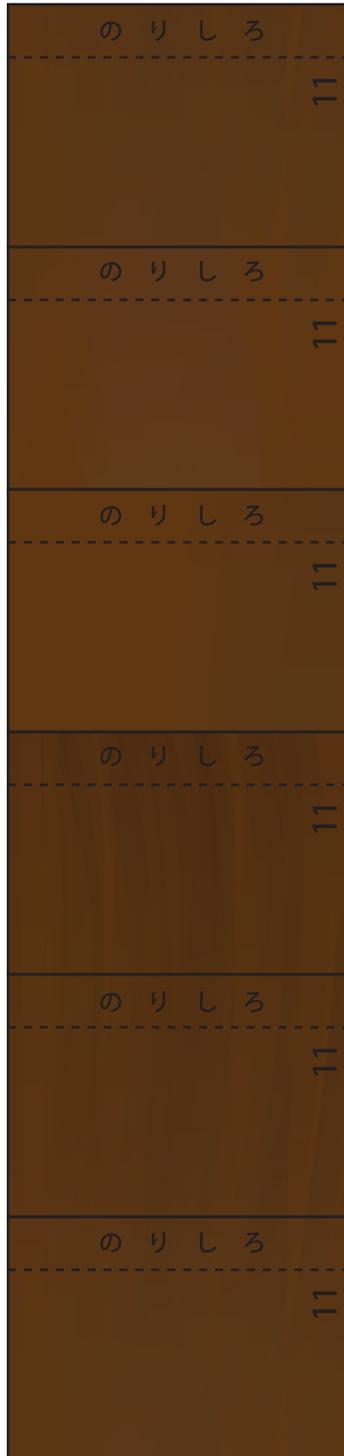
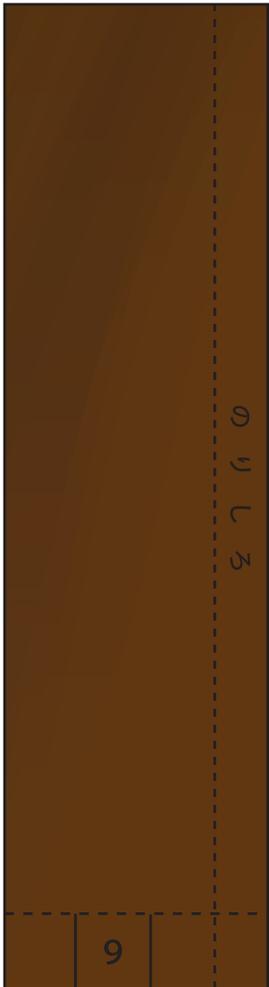
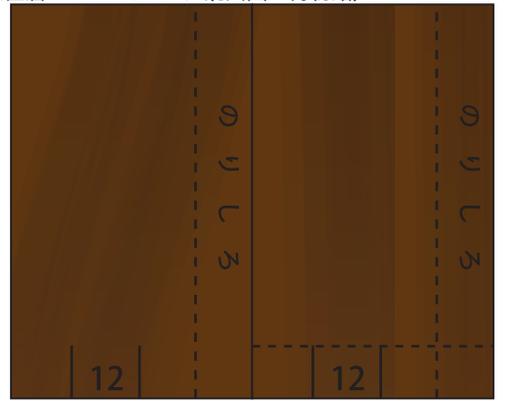
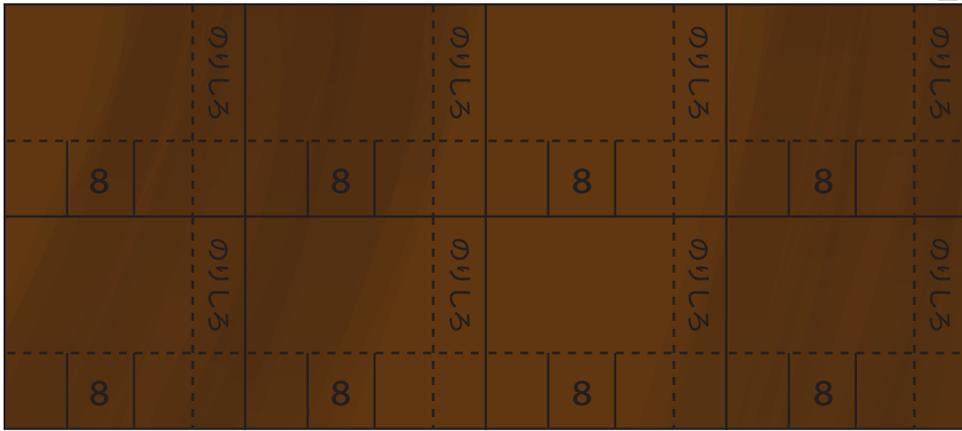
横から見た図



—— 切り取り線

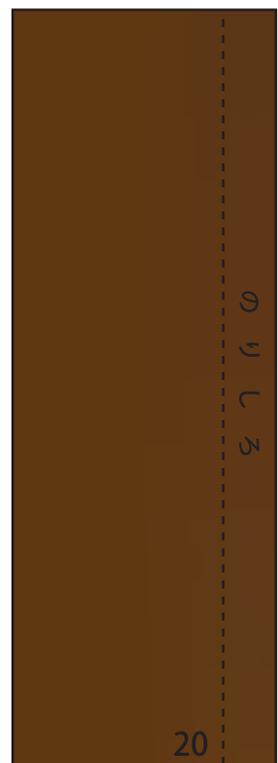
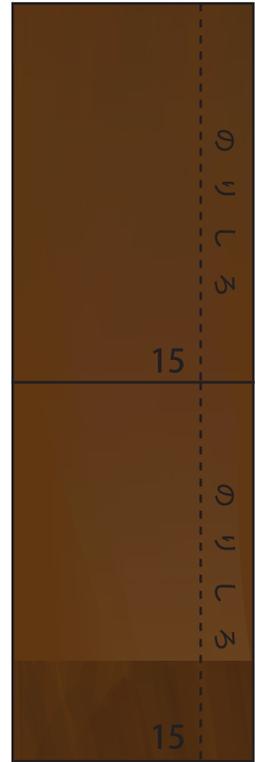
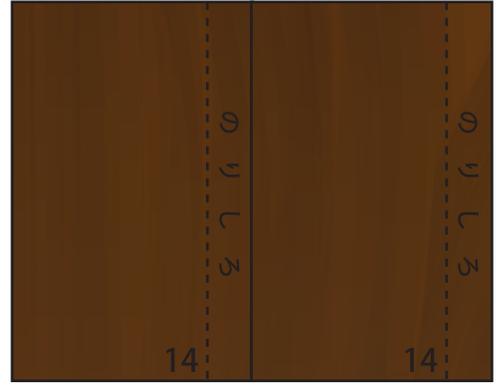








18





19

17